

美作監査第47号  
令和元年8月26日

美作市長 萩原 誠司 殿

美作市監査委員 東内 義典  
美作市監査委員 山本 雅彦

平成30年度美作市公営企業会計決算審査意見について

地方公営企業法第30条第2項の規定により、審査に付された平成30年度美作市公営企業会計決算及び各証書類その他関係書類を審査したので、その結果について次のとおり意見書を提出します。



平成30年度

美作市公営企業会計決算審査意見書

美作市水道事業会計

美作市病院事業会計

美作市下水道事業会計

美作市監査委員



## 目 次

第1	審査の対象	1
第2	審査の期間	1
第3	審査の方法	1
第4	審査の結果	1
1	美作市水道事業会計	2
(1)	事業概要	2
(2)	予算の執行状況	2
(3)	経営成績	4
(4)	財政状況	6
(5)	むすび	8
2	美作市病院事業会計	9
(1)	事業概要	9
(2)	予算の執行状況	9
(3)	経営成績	11
(4)	財政状況	13
(5)	むすび	15
3	美作市下水道事業会計	16
(1)	事業概要	16
(2)	予算の執行状況	17
(3)	経営成績	22
(4)	財政状況	25
(5)	むすび	27

- (注) ① 説明文中の金額は原則として万円単位で表し、万円未満については切り捨てた。  
このため計数が一致しないことがある。
- ② 比率・割合は、原則として小数点第2位を四捨五入した。このため計数が一致しない場合がある。
- ③ 各表中比較増減の減は、△印で表示した。
- ④ 1.事業概要、2.予算執行状況は消費税込みで示し、3.経営成績、4.財政状況は消費税抜きで表示した。
- ⑤ 「0.0」は、該当数値はあるが表示単位未満のものである。
- ⑥ 「-」は、該当数値のないもの、又は算出不能なものである。
- ⑦ 「皆増」は、前年度に数値がなく全額増加したものである。
- ⑧ 「皆減」は、当該年に数値がなく全額減少したものである。



# 平成30年度美作市公営企業会計決算審査意見

## 第1 審査の対象

平成30年度 美作市水道事業会計決算  
平成30年度 美作市病院事業会計決算  
平成30年度 美作市下水道事業会計決算

## 第2 審査の期間

令和元年7月9日から令和元年8月26日まで

## 第3 審査の方法

審査にあたっては、都市監査基準に準拠し、各会計歳入歳出決算書及び付属書類が関係法令に適合して作成されているかどうかを確認し、これらの計数について関係諸帳簿及び関係資料を審査し、担当職員の説明を聴取して比較分析等の検討を加えて審査した。

## 第4 審査の結果

審査に付された歳入歳出決算書及びその他関係諸帳簿等はいずれも関係法令に準拠して作成され、計数は符合し正確であり、予算の執行は審査した限りにおいては適正であることを認めた。

なお、各事業の決算概要及びこれに対する審査意見は次のとおりである。

# 1 美作市水道事業会計

## (1) 事業概要

年度 区分	単位	30	29	増 減	増減率(%)
給 水 人 口	人	20,143	20,441	△ 298	△1.5
加 入 戸 数	戸	11,211	11,162	49	0.4
給 水 戸 数	戸	9,895	9,893	2	0.0
給水中止戸数	戸	1,316	1,269	47	3.7
総 配 水 量	m <sup>3</sup>	3,207,059	3,231,324	△ 24,265	△0.8
有 収 水 量	m <sup>3</sup>	2,400,343	2,484,612	△ 84,269	△3.4
有 収 率	%	74.85	76.89	△ 2.04	

## (2) 予算の執行状況

### ① 収益的収入及び支出

#### 《収入》

(単位：円・%)

区 分	予算額	決算額	収入率	予算額に比べ 決算額の増減
水 道 事 業 収 益	<b>637,444,000</b>	<b>591,701,695</b>	<b>92.8</b>	△ 45,742,305
営 業 収 益	608,695,000	<b>562,039,429</b>	92.3	△ 46,655,571
営 業 外 収 益	28,749,000	<b>29,662,266</b>	103.2	913,266

#### 《支出》

(単位：円・%)

区 分	予 算 額	決 算 額	執行率	不 用 額
水 道 事 業 費 用	<b>648,864,000</b>	<b>551,140,959</b>	<b>84.9</b>	97,723,041
営 業 費 用	608,389,000	<b>513,667,303</b>	84.4	94,721,697
営 業 外 費 用	35,555,000	<b>35,554,547</b>	100.0	453
特 別 損 失	1,920,000	<b>1,919,109</b>	100.0	891
予 備 費	3,000,000	0	—	3,000,000

収益的収入決算額 5 億 9,170 万円の内訳は営業収益 5 億 6,203 万円、営業外収益 2,966 万円であり、予算額 6 億 3,744 万円に対し 92.8%の収入率となっている。

収益的支出決算額 5 億 5,114 万円の内訳は営業費用 5 億 1,366 万円、営業外費用 3,555 万円、特別損失 191 万円であり、予算額 6 億 4,886 万円に対し 84.9%の執行率となってい

る。

② 資本的収入及び支出

《収入》

(単位：円・%)

区 分	予算額	決算額	収入率	予算額に比べ 決算額の増減
資 本 的 収 入	4,089,000	<b>6,594,600</b>	<b>161.3</b>	2,505,600
出 資 金	849,000	<b>849,000</b>	100.0	0
負 担 金	3,240,000	<b>5,745,600</b>	177.3	2,505,600

《支出》

(単位：円・%)

区 分	予算額	決算額	翌年度繰越額	執行率	不用額
資 本 的 支 出	297,523,000	<b>168,431,274</b>	0	<b>56.6</b>	129,091,726
建 設 改 良 費	232,680,000	<b>103,589,091</b>	0	44.5	129,090,909
企 業 債 償 還 金	64,843,000	<b>64,842,183</b>	0	100.0	817

資本的収入決算額 659 万円の内訳は出資金が 84 万円、負担金が 574 万円で、予算に対する収入率は 161.3%となっている。

資本的支出決算額 1 億 6,843 万円の内訳は建設改良費が 1 億 358 万円、企業債償還金が 6,484 万円で、予算に対する執行率は 56.6%となっている。

### (3) 経営成績

#### ① 損益計算書

#### 損益計算書

(単位：円・%)

科目	30		29		対前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
<b>営業収益</b>	<b>520,993,083</b>	94.6	540,505,688	94.9	△ 19,512,605	△ 3.6
給水収益	496,498,460	90.2	511,036,240	89.8	△ 14,537,780	△ 2.8
受託工事収益	7,191,251	1.3	10,737,831	1.9	△ 3,546,580	△ 33.0
その他の営業収益	17,303,372	3.1	18,731,617	3.3	△ 1,428,245	△ 7.6
<b>営業費用</b>	<b>500,283,394</b>	96.5	519,288,600	96.5	△ 19,005,206	△ 3.7
原水及び浄水費	63,657,358	12.3	65,118,105	12.1	△ 1,460,747	△ 2.2
配水及び給水費	69,718,995	13.4	59,041,443	11.0	10,677,552	18.1
受託工事費	9,350,000	1.8	11,610,000	2.2	△ 2,260,000	△ 19.5
総係費	151,502,610	29.2	158,324,450	29.4	△ 6,821,840	△ 4.3
減価償却費	196,173,453	37.8	201,829,579	37.5	△ 5,656,126	△ 2.8
資産減耗費	9,264,258	1.8	22,126,293	4.1	△ 12,862,035	△ 58.1
その他営業費用	616,720	0.1	1,238,730	0.2	△ 622,010	△ 50.2
<b>営業利益</b>	<b>20,709,689</b>	—	21,217,088	—	△ 507,399	△ 2.4
<b>営業外収益</b>	<b>29,710,830</b>	5.4	28,840,599	5.1	870,231	3.0
受取利息及び配当金	1,225,057	0.2	561,127	0.1	663,930	118.3
他会計補助金	4,698,000	0.9	3,921,000	0.7	777,000	19.8
長期前受金戻入	23,739,209	4.3	24,038,179	4.2	△ 298,970	△ 1.2
雑収益	48,564	0.0	320,293	0.1	△ 271,729	△ 84.8
<b>営業外費用</b>	<b>16,211,647</b>	3.1	18,576,572	3.5	△ 2,364,925	△ 12.7
支払利息及び企業債取扱諸費	16,211,647	3.1	18,511,393	3.4	△ 2,299,746	△ 12.4
雑支出	0	0.0	65,179	0.0	△ 65,179	皆減
<b>経常利益</b>	<b>34,208,872</b>	—	31,481,115	—	2,727,757	8.7
<b>特別損失</b>	<b>1,919,109</b>	0.4	373,795	0.1	1,545,314	413.4
過年度損益修正損	1,919,109	0.4	373,795	0.1	1,545,314	413.4
<b>当年度純利益</b>	<b>32,289,763</b>	—	31,107,320	—	1,182,443	3.8
<b>前年度繰越利益剰余金</b>	<b>898,376</b>	—	791,056	—	107,320	13.6
<b>当年度未処分利益剰余金</b>	<b>33,188,139</b>	—	31,898,376	—	1,289,763	4.0

(注) 構成比は総収益、総費用に対する比率である。

平成 29 年度の当年度未処分利益剰余金と平成 30 年度の前年度繰越利益剰余金の差 3,100 万円は減債積立金で処理している。

ア 営業損益

営業収益 5 億 2,099 万円から営業費用 5 億 28 万円を控除した営業利益は、2,070 万円となっている。

イ 経常損益

営業利益に営業外収益 2,971 万円及び営業外費用 1,621 万円を加減した経常利益は 3,420 万円となっている。

ウ 純損益

経常利益に特別損失 191 万円を控除した当年度純利益は、3,228 万円であり、この額に前年度繰越利益剰余金 89 万円を加えた 3,318 万円が当年度未処分利益剰余金となっている。

② 未収金の状況について

水道料金未収金一覧

(単位：円・%)

年度 区分		30	29	対前年度比	
				増減	増減率
現年度分	美作地区	5,130,946	5,711,000	△ 580,054	△ 10.2
	作東地区	1,537,085	2,095,512	△ 558,427	△ 26.6
	英田地区	662,597	750,389	△ 87,792	△ 11.7
	計	7,330,628	8,556,901	△ 1,226,273	△ 14.3
過年度分	美作地区	2,288,890	2,027,829	261,061	12.9
	作東地区	5,199,889	5,173,933	25,956	0.5
	英田地区	384,627	494,302	△ 109,675	△ 22.2
	計	7,873,406	7,696,064	177,342	2.3
合計		<b>15,204,034</b>	16,252,965	<b>△ 1,048,931</b>	<b>△ 6.5</b>

平成 30 年度末現在の水道料金の未収金は、1,520 万円であり、前年度と比べ 104 万円 (6.5%) 減少している。

#### (4) 財政状況

《資産の部》

(単位：円・%)

科目	30		29		対前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
<b>固定資産</b>	<b>3,999,887,424</b>	77.2	3,909,409,309	75.0	90,478,115	2.3
有形固定資産	3,785,704,224	73.0	3,890,803,429	74.7	△ 105,099,205	△ 2.7
土地	199,888,821	3.9	199,888,821	3.8	0	0.0
建物	151,852,441	2.9	158,014,085	3.0	△ 6,161,644	△ 3.9
構築物	2,684,232,961	51.8	2,760,068,723	53.0	△ 75,835,762	△ 2.7
機械及び装置	742,199,740	14.3	764,512,417	14.7	△ 22,312,677	△ 2.9
車両運搬具	3,761,365	0.1	4,799,763	0.1	△ 1,038,398	△ 21.6
工具器具及び備品	3,768,896	0.1	3,519,620	0.1	249,276	7.1
無形固定資産	14,183,200	0.3	18,605,880	0.4	△ 4,422,680	△ 23.8
水利権	430,000	0.0	860,000	0.0	△ 430,000	△ 50.0
施設利用権	2,580,000	0.0	3,399,480	0.1	△ 819,480	△ 24.1
ソフト使用権	11,173,200	0.2	14,346,400	0.3	△ 3,173,200	△ 22.1
投資その他の資産	200,000,000	3.9	0	0.0	200,000,000	皆増
投資有価証券	200,000,000	3.9	0	0.0	200,000,000	皆増
<b>流動資産</b>	<b>1,184,118,325</b>	22.8	1,300,144,897	25.0	△ 116,026,572	△ 8.9
現金預金	1,130,113,885	21.8	1,260,533,994	24.2	△ 130,420,109	△ 10.3
未収金	22,444,597	0.4	19,607,005	0.4	2,837,592	14.5
貯蔵品	23,422,143	0.5	19,866,198	0.4	3,555,945	17.9
前払金	8,137,700	0.2	137,700	0.0	8,000,000	5,809.7
<b>資産合計</b>	<b>5,184,005,749</b>	100.0	5,209,554,206	100.0	△ 25,548,457	△ 0.5

《負債及び資本の部》

(単位：円・%)

科目	30		29		対前年度比	
	金額	構成	金額	構成	増減	増減率
<b>固定負債</b>	<b>372,832,300</b>	7.2	502,449,014	9.6	△129,616,714	△25.8
企業債(建設改良等企業債)	363,789,468	7.0	493,406,182	9.5	△129,616,714	△26.3
引当金(修繕引当金)	9,042,832	0.2	9,042,832	0.2	0	0.0
<b>流動負債</b>	<b>226,590,896</b>	4.4	137,242,193	2.6	89,348,703	65.1
企業債	64,774,531	1.2	0	0.0	64,774,531	皆増
未払金	108,099,104	2.1	78,508,567	1.5	29,590,537	37.7
預り金	45,019,261	0.9	50,567,626	1.0	△5,548,365	△11.0
引当金	8,698,000	0.2	8,166,000	0.2	532,000	6.5
<b>繰延収益</b>	<b>484,265,385</b>	9.3	508,004,594	9.8	△23,739,209	△4.7
長期前受金	484,265,385	9.3	508,004,594	9.8	△23,739,209	△4.7
<b>資本金</b>	<b>3,644,513,979</b>	70.3	3,643,664,979	69.9	849,000	0.0
自己資本金	3,603,227,309	69.5	3,603,227,309	69.2	0	0.0
一般会計出資金	41,286,670	0.8	40,437,670	0.8	849,000	2.1
<b>剰余金</b>	<b>455,803,189</b>	8.8	418,193,426	8.0	37,609,763	9.0
資本剰余金	130,615,050	2.5	125,295,050	2.4	5,320,000	4.2
保険金	21,820,050	0.4	21,820,050	0.4	0	0.0
その他剰余金	108,795,000	2.1	103,475,000	2.0	5,320,000	5.1
利益剰余金	325,188,139	6.3	292,898,376	5.6	32,289,763	11.0
減債積立金	169,000,000	3.3	138,000,000	2.6	31,000,000	22.5
建設改良積立金	123,000,000	2.4	123,000,000	2.4	0	0.0
当年度未処分利益剰余金	33,188,139	0.6	31,898,376	0.6	1,289,763	4.0
<b>負債・資本合計</b>	<b>5,184,005,749</b>	100.0	5,209,554,206	100.0	△25,548,457	△0.5

資産総額は51億8,400万円で、内訳は固定資産が39億9,988万円、流動資産が11億8,411万円である。また、負債及び資本の構成は、固定負債が3億7,283万円、流動負債が2億2,659万円、繰延収益が4億8,426万円、資本金が36億4,451万円、剰余金が4億5,580万円である。

## (5) む す び

### ① 業務実績について

水道は、生活及び社会経済活動を支える基盤施設であると共に、「安全で安心な水道水」の安定的な供給が、快適な生活の実現及び社会の経済の維持・発展に不可欠なものとなっている。また、地域住民のライフラインとして低廉で清浄な水道水を常時安定供給していくことが使命である。

ところで、本年度末における給水人口は 20,143 人、給水戸数は 9,895 戸で、前年度と比較すると給水人口は 298 人減少、給水戸数は 2 戸増加している。また、年間総配水量は 3,207,059 m<sup>3</sup>、有収率は 74.85%で、前年度と比較すると、配水量は 24,265 m<sup>3</sup>減少しており、有収率は 2.04 ポイント低下しているなど、水需要は減少傾向にある。

この様な状況下ではあるが、本年度においても、浄水場ろ過池ろ材、ポンプ設備、ポンプ制御盤及び水道管等の基幹設備の更新等を実施し安心・安定・安全な給水の確保に努めている。

### ② 意見及び指摘事項

水道事業は、地域住民のライフラインとして低廉で清浄な水道水を常時安定給水していくことが使命であるが、給水人口は年々減少傾向にあり、より効果的な事業運営が必要とされる。

本年度における経常収支比率は 106.6%で、純利益 3,228 万円が計上されているが、今後、高度経済成長期に建設した施設、管路が経年劣化等により更新時期を迎え、設備の改修費用の増加が見込まれる。施設の統廃合を含めた設備の更新等を計画し経費の削減を図り、最小の経費で最大の効果を得るための方策を検討しながら、一層の経費削減を図るとともに、公平性の観点から、新たな未収金の発生抑止に努めるなど、引き続き収入未済額の縮減に努められたい。

また、社会情勢の変化による需要の動向等を見据えながら、効果的な計画を策定し、経営の効率化推進に向けて努力されたい。

## 2 美作市病院事業会計

### (1) 事業概要

(単位：人・%)

区分 \ 年度	30	29	増 減	増減率(%)
入 院	28,114	27,265	849	3.1
外 来	29,501	29,341	160	0.5

### (2) 予算の執行状況

#### ① 収益的収入及び支出

《収入》

(単位：円・%)

区 分	予 算 額	決 算 額	収入率	予算額に比べ 決算額の増減
病院事業収益	<b>992,539,000</b>	<b>1,089,673,828</b>	<b>109.8</b>	97,134,828
医業収益	782,133,000	<b>879,032,116</b>	112.4	96,899,116
医業外収益	210,405,000	<b>210,641,712</b>	100.1	236,712
特別利益	1,000	0	—	△ 1,000

《支出》

(単位：円・%)

区 分	予 算 額	決 算 額	執行率	不用額
病院事業費用	<b>995,678,000</b>	<b>946,505,454</b>	<b>95.1</b>	49,172,546
医業費用	963,417,000	<b>917,631,995</b>	95.2	45,785,005
医業外費用	29,260,000	<b>28,873,459</b>	98.7	386,541
特別損失	1,000	0	—	1,000
予備費	3,000,000	0	—	3,000,000

収益的収入決算額 10 億 8,967 万円の内訳は医業収益 8 億 7,903 万円、医業外収益 2 億 1,064 万円であり、予算額 9 億 9,253 万円に対し 109.8%の収入率となっている。また、収益的支出決算額 9 億 4,650 万円の内訳は医業費用 9 億 1,763 万円、医業外費用 2,887 万円であり、予算額 9 億 9,567 万円に対し 95.1%の執行率となっている。

② 資本的収入及び支出

《収入》

(単位：円・%)

区 分	予 算 額	決 算 額	収入率	予算額に比べ 決算額の増減
資 本 的 収 入	17,947,000	<b>17,947,000</b>	<b>100.0</b>	0
一般会計出資金	17,947,000	17,947,000	100.0	0

《支出》

(単位：円・%)

区 分	予 算 額	決 算 額	執行率	不用額
資 本 的 支 出	46,499,000	<b>46,105,528</b>	99.2	393,472
建設改良費	10,739,000	<b>10,346,240</b>	<b>96.3</b>	392,760
企業債償還金	35,760,000	<b>35,759,288</b>	<b>100.0</b>	712

資本的収入決算額 1,794 万円で、予算に対する収入率は 100.0%となっている。

資本的支出決算額は 4,610 万円で建設改良費が 1,034 万円、企業債償還金が 3,575 万円で、予算に対する執行率は建設改良費 96.3%、企業債償還金 100.0%となっている。

### (3) 経営成績

#### ① 損益計算書

#### 損益計算書

(単位：円・%)

年度 科目	30		29		対前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
<b>医業収益</b>	<b>875,022,959</b>	80.6	838,030,859	79.9	36,992,100	4.4
入院収益	567,248,238	52.3	544,551,660	51.9	22,696,578	4.2
外来収益	205,811,231	19.0	198,150,554	18.9	7,660,677	3.9
その他医業収益	101,963,490	9.4	95,328,645	9.1	6,634,845	7.0
<b>医業費用</b>	<b>901,716,379</b>	95.3	870,281,429	95.5	31,434,950	3.6
給与費	590,680,086	62.5	574,239,017	63.0	16,441,069	2.9
材料費	101,027,358	10.7	90,828,284	10.0	10,199,074	11.2
経費	141,087,120	14.9	131,335,442	14.4	9,751,678	7.4
減価償却費	68,472,005	7.2	72,839,793	8.0	△ 4,367,788	△ 6.0
資産減耗費	158,321	0.0	803,811	0.1	△ 645,490	△ 80.3
研究研修費	291,489	0.0	235,082	0.0	56,407	24.0
<b>医業損失</b>	<b>26,693,420</b>	—	32,250,570	—	△ 5,557,150	△ 17.2
<b>医業外収益</b>	<b>210,488,066</b>	19.4	211,231,776	20.1	△ 743,710	△ 0.4
受取利息及び配当金	1,757,620	0.2	934,598	0.1	823,022	88.1
他会計補助金	187,548,000	17.3	183,202,000	17.5	4,346,000	2.4
国・県補助金	4,583,000	0.4	4,826,000	0.5	△ 243,000	△ 5.0
患者外給食収益	221,508	0.0	186,617	0.0	34,891	18.7
長期前受金戻入	13,668,597	1.3	16,872,497	1.6	△ 3,203,900	△ 19.0
その他医業外収益	2,709,341	0.2	5,210,064	0.5	△ 2,500,723	△ 48.0
<b>医業外費用</b>	<b>44,425,890</b>	4.7	40,552,774	4.5	3,873,116	9.6
支払利息及び企業債取扱諸費	12,413,664	1.3	13,097,473	1.4	△ 683,809	△ 5.2
患者外給食材料費	248,374	0.0	157,740	0.0	90,634	57.5
院内保育所運営費	7,548,703	0.8	3,578,664	0.4	3,970,039	110.9
雑支出	18,880,149	2.0	18,383,897	2.0	496,252	2.7
長期前払消費税勘定償却費	5,335,000	0.6	5,335,000	0.6	0	0.0
<b>経常利益</b>	<b>139,368,756</b>	—	138,428,432	—	940,324	0.7
<b>特別損失</b>	<b>0</b>	—	0	—	0	—
<b>当年度純利益(損失)</b>	<b>139,368,756</b>	—	138,428,432	—	940,324	0.7
<b>前年度繰越利益剰余金</b>	<b>972,937,512</b>	—	854,509,080	—	118,428,432	13.9
<b>当年度未処分利益剰余金</b>	<b>1,112,306,268</b>	—	992,937,512	—	119,368,756	12.0

(注) 構成比は総収益、総費用に対する比率である。

平成 29 年度の当年度未処分利益剰余金と平成 30 年度の前年度繰越利益剰余金の差 2,000 万円は減債積立金で処理している。

ア 医業損益

医業収益 8 億 7,502 万円から医業費用 9 億 171 万円を控除した医業損失は 2,669 万円となっている。

イ 経常損益

医業損失に医業外収益 2 億 1,048 万円及び医業外費用 4,442 万円を加減算した経常利益は 1 億 3,936 万円となっている。

ウ 純利益

特別損失がないため、当年度純利益は 1 億 3,936 万円となっている。

前年度繰越利益剰余金 9 億 7,293 万円に当年度純利益を加算した 11 億 1,230 万円が当年度未処分利益剰余金となっている。

エ まとめ

病院経営は医業収支では約 2,700 万円の赤字であったが、他会計補助金や国・県補助金などの医業外収益により約 1 億 4 千万円の黒字経営となっている。

② 未収金について

(単位：円・%)

年度 区分		30	29	対前年度比	
		金額	金額	増減	増減率
現 年 度 分	入院	5,578,706	4,500,392	1,078,314	24.0
	外来	334,608	191,298	143,310	74.9
	事故	227,182	192,469	34,713	18.0
	介護	156,392	141,821	14,571	10.3
	計	6,296,888	5,025,980	1,270,908	25.3
過 年 度 分	入院	3,633,710	3,417,242	216,468	6.3
	外来	429,055	418,985	10,070	2.4
	事故	0	0	0	—
	介護	0	0	0	—
	計	4,062,765	3,836,227	226,538	5.9
合 計		<b>10,359,653</b>	8,862,207	<b>1,497,446</b>	<b>16.9</b>

平成 30 年度末現在の、患者負担金の未収金は 1,035 万円であり、前年度と比べ 149 万円 (16.9%) 増加している。

#### (4) 財政状況

《資産の部》

(単位：円・%)

年度 科目	30		29		対前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
<b>固定資産</b>	<b>1,815,985,982</b>	<b>48.9</b>	1,880,332,092	52.3	△ 64,346,110	△ 3.4
有形固定資産	1,585,073,311	42.7	1,644,084,421	45.7	△ 59,011,110	△ 3.6
土地	5,861,552	0.2	5,861,552	0.2	0	0.0
建物	1,528,282,738	41.2	1,582,054,208	44.0	△ 53,771,470	△ 3.4
構築物	4,563,820	0.1	4,667,334	0.1	△ 103,514	△ 2.2
機械備品	42,130,060	1.1	49,882,059	1.4	△ 7,751,999	△ 15.5
車両運搬具	4,235,141	0.1	1,619,268	0.0	2,615,873	161.5
投資その他の資産	230,912,671	6.2	236,247,671	6.6	△ 5,335,000	△ 2.3
投資有価証券	200,000,000	5.4	200,000,000	5.6	0	0.0
長期前払消費税	30,912,671	0.8	36,247,671	1.0	△ 5,335,000	△ 14.7
<b>流動資産</b>	<b>1,894,494,029</b>	<b>51.1</b>	1,714,271,791	47.7	180,222,238	10.5
現金預金	1,761,321,565	47.5	1,577,837,107	43.9	183,484,458	11.6
未収金	129,232,652	3.5	132,137,172	3.7	△ 2,904,520	△ 2.2
貯蔵品	3,908,312	0.1	4,297,512	0.1	△ 389,200	△ 9.1
前払金	31,500	0.0	0	0.0	31,500	皆増
<b>資産合計</b>	<b>3,710,480,011</b>	<b>100.0</b>	3,594,603,883	100.0	115,876,128	3.2

《負債及び資本の部》

(単位：円・%)

科目	30		29		対前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
<b>固定負債</b>	<b>764,944,732</b>	20.6	800,358,859	22.3	△ 35,414,127	△ 4.4
企業債	589,122,152	15.9	626,236,779	17.4	△ 37,114,627	△ 5.9
引当金	175,822,580	4.7	174,122,080	4.8	1,700,500	1.0
退職給与引当金	139,832,830	3.8	140,632,330	3.9	△ 799,500	△ 0.6
特別修繕引当金	35,989,750	1.0	33,489,750	0.9	2,500,000	7.5
<b>流動負債</b>	<b>101,575,657</b>	2.7	93,932,561	2.6	7,643,096	8.1
企業債	1,355,339	0.0	0	0.0	1,355,339	皆増
未払金	68,920,318	1.9	67,363,561	1.9	1,556,757	2.3
引当金(賞与引当金)	31,300,000	0.8	26,569,000	0.7	4,731,000	17.8
預り金	0	0.0	0	0.0	0	—
<b>繰延収益(長期前受金)</b>	<b>219,215,590</b>	5.9	232,884,187	6.5	△ 13,668,597	△ 5.9
<b>資本金</b>	<b>1,339,204,295</b>	36.1	1,321,257,295	36.8	17,947,000	1.4
自己資本金	1,339,204,295	36.1	1,321,257,295	36.8	17,947,000	1.4
<b>剰余金</b>	<b>1,285,539,737</b>	34.6	1,146,170,981	31.9	139,368,756	12.2
資本剰余金	49,253,665	1.3	49,253,665	1.4	0	0.0
国・県補助金	6,084,760	0.2	6,084,760	0.2	0	0.0
負担金	43,168,905	1.2	43,168,905	1.2	0	0.0
利益剰余金	1,236,286,072	33.3	1,096,917,316	30.5	139,368,756	12.7
減債積立金	115,000,000	3.1	95,000,000	2.6	20,000,000	21.1
利益積立金	8,979,804	0.2	8,979,804	0.2	0	0.0
当年度未処分利益剰余金	1,112,306,268	30.0	992,937,512	27.6	119,368,756	12.0
<b>負債・資本合計</b>	<b>3,710,480,011</b>	100.0	3,594,603,883	100.0	115,876,128	3.2

資産総額は 37 億 1,048 万円で、内訳は固定資産が 18 億 1,598 万円、流動資産が 18 億 9,449 万円である。また、負債及び資本の構成は、固定負債が 7 億 6,494 万円、流動負債が 1 億 157 万円、繰延収益が 2 億 1,921 万円、資本金が 13 億 3,920 万円、剰余金が 12 億 8,553 万円である。

## (5) む す び

### ① 業務実績について

本年度末における患者数は、入院が 28,114 人、外来が 29,501 人であった。前年度と比較すると入院が 849 人、外来が 160 人の増加となっている。

収益的には入院収入が前年比 2,269 万円の増、外来収入が前年比 766 万円の増となっている。

収益的収支は、収益決算額が 10 億 8,551 万円、対前年比 3,624 万円の増、費用決算額は 9 億 4,614 万円、対前年比 3,530 万円の増となった。

主な内訳については、収益では、その他医業収益が 663 万円の増、他会計補助金が 434 万円の増、費用面では、医業費用の給与費が 1,644 万円の増、材料費が 1,019 万円の増、経費のうち燃料費が 276 万円、修繕費が 252 万円、委託料が 383 万円の増などとなっているが、当年度は 1 億 3,936 万円の純利益となっている。

資本的収支については、機械備品購入費として小型回診型超音波画像診断装置を 344 万円で、訪問診療用公用車 2 台を 335 万円で更新している。また、企業債 3,575 万円の償還を執行している。

時間外における診療件数は 1,456 件、救急搬送件数は 179 件であった。前年度と比較すると診療件数は 29 件、救急搬送件数は 15 件減少している。

人口減少、国民総医療費の削減など病院経営をめぐる環境の厳しさに加え、医師不足や看護師不足など、医療現場においても厳しい状況が続いている中で、これらの解消にむけて平成 22 年度より地域医療臨床研修協力病院として、研修医の受入をするなどの努力をしており、本年度においては、臨床研修医を 12 名、医学部学生を 3 名、看護実習生を 13 名受け入れている。

### ② 意見及び指摘事項

大原病院は、美作市唯一の公立病院として、予防及び福祉医療を含めた包括医療を実践しながらも、医師・看護師が不足している中で、精力的な運営努力をされていることを高く評価する。

今後も地域医療サービスの提供主体としての役割を十分認識し、職員一人一人が日々の自己研鑽を重ね、真摯に業務に取り組まれない。

なお、患者未収金については、発生理由が様々であるが、一旦発生した個人未収金を回収するには時間と手間が多くかかるため、病院経営の経済性と合理性の観点から、未収金が発生しないように、事前の防止策を講じることが肝要である。

### 3 美作市下水道事業会計

#### (1) 事業概要

項目 \ 年度	単位	30	29	増 減	増減率(%)
水 洗 化 世 帯	世帯	10,015	10,227	△ 212	△2.1
処 理 人 口	人	27,175	27,583	△ 408	△1.5
水 洗 化 人 口	人	23,683	24,185	△ 502	△2.1
水 洗 化 率	%	87.1	87.7	△ 0.6	—
計 画 面 積	ha	1,778	1,778	0	0.0
整 備 面 積	ha	1,516	1,516	0	0.0
処 理 面 積	ha	1,516	1,516	0	0.0
汚 水 管 渠 延 長	km	606	606	0	0.0
雨 水 管 渠 延 長	km	2	2	0	0.0
総 処 理 水 量	m <sup>3</sup>	2,970,147	3,144,534	△ 174,387	△5.5
一 日 平 均 処 理 水 量	m <sup>3</sup>	8,137	8,615	△ 478	△5.5
総 有 収 水 量	m <sup>3</sup>	2,812,001	2,908,087	△ 96,086	△3.3
一 日 平 均 有 収 水 量	m <sup>3</sup>	7,704	7,967	△ 263	△3.3

## (2) 予算の執行状況

### ① 収益的収入及び支出

〈収入〉

(単位:円・%)

区 分	予 算 額	決 算 額	収入率	構成比	予算額に比べ 決算額の増減
<b>公 共 下 水 道 事 業 収 益</b>	649,539,000	653,913,963	100.7	<b>24.9</b>	4,374,963
営業 収 益	188,602,000	186,786,252	99.0	7.1	△ 1,815,748
営業 外 収 益	460,936,000	467,127,711	101.3	17.8	6,191,711
特 別 利 益	1,000	0	—	0.0	△ 1,000
<b>特定環境保全公共下水道事業収益</b>	1,496,325,000	1,476,910,594	98.7	<b>56.2</b>	△ 19,414,406
営業 収 益	247,003,000	225,362,576	91.2	8.6	△ 21,640,424
営業 外 収 益	1,249,321,000	1,251,548,018	100.2	47.6	2,227,018
特 別 利 益	1,000	0	—	0.0	△ 1,000
<b>農 業 集 落 排 水 事 業 収 益</b>	440,593,000	441,105,297	100.1	<b>16.8</b>	512,297
営業 収 益	48,502,000	44,241,392	91.2	1.7	△ 4,260,608
営業 外 収 益	392,090,000	396,863,905	101.2	15.1	4,773,905
特 別 利 益	1,000	0	—	0.0	△ 1,000
<b>小規模集合排水処理事業収益</b>	10,192,000	9,144,943	89.7	<b>0.3</b>	△ 1,047,057
営業 収 益	1,601,000	480,545	30.0	0.0	△ 1,120,455
営業 外 収 益	8,590,000	8,664,398	100.9	0.3	74,398
特 別 利 益	1,000	0	—	0.0	△ 1,000
<b>個 別 排 水 処 理 事 業 収 益</b>	29,223,000	28,985,240	99.2	<b>1.1</b>	△ 237,760
営業 収 益	8,601,000	7,832,570	91.1	0.3	△ 768,430
営業 外 収 益	20,621,000	21,152,670	102.6	0.8	531,670
特 別 利 益	1,000	0	—	0.0	△ 1,000
<b>生 活 排 水 処 理 事 業 収 益</b>	21,054,000	20,114,167	95.5	<b>0.8</b>	△ 939,833
営業 収 益	6,801,000	5,637,783	82.9	0.2	△ 1,163,217
営業 外 収 益	14,252,000	14,476,384	101.6	0.6	224,384
特 別 利 益	1,000	0	—	0.0	△ 1,000
<b>合 計</b>	<b>2,646,926,000</b>	<b>2,630,174,204</b>	<b>99.4</b>	<b>100.0</b>	△ 16,751,796

《支出》

(単位：円・%)

区 分	予 算 額	決 算 額	執行率	構成比	不 用 額
<b>公共下水道事業費用</b>	666,474,000	659,724,565	99.0	<b>24.8</b>	6,749,435
営業費用	568,382,000	563,394,706	99.1	21.2	4,987,294
営業外費用	96,492,000	95,729,979	99.2	3.6	762,021
特別損失	600,000	599,880	100.0	0.0	120
予備費	1,000,000	0	—	0.0	1,000,000
<b>特定環境保全公共下水道事業費用</b>	1,536,253,000	1,502,030,879	97.8	<b>56.4</b>	34,222,121
営業費用	1,309,008,000	1,276,595,773	97.5	47.9	32,412,227
営業外費用	225,645,000	224,835,491	99.6	8.4	809,509
特別損失	600,000	599,615	99.9	0.0	385
予備費	1,000,000	0	—	0.0	1,000,000
<b>農業集落排水事業費用</b>	455,950,000	442,577,021	97.1	<b>16.6</b>	13,372,979
営業費用	397,652,000	385,444,922	96.9	14.5	12,207,078
営業外費用	56,998,000	56,842,860	99.7	2.1	155,140
特別損失	300,000	289,239	96.4	0.0	10,761
予備費	1,000,000	0	—	0.0	1,000,000
<b>小規模集合排水処理事業費用</b>	10,884,000	9,336,932	85.8	<b>0.4</b>	1,547,068
営業費用	8,643,000	7,202,483	83.3	0.3	1,440,517
営業外費用	2,091,000	2,084,963	99.7	0.1	6,037
特別損失	50,000	49,486	99.0	0.0	514
予備費	100,000	0	—	0.0	100,000
<b>個別排水処理事業費用</b>	34,140,000	31,480,812	92.2	<b>1.2</b>	2,659,188
営業費用	31,096,000	28,580,473	91.9	1.1	2,515,527
営業外費用	2,894,000	2,855,396	98.7	0.1	38,604
特別損失	50,000	44,943	89.9	0.0	5,057
予備費	100,000	0	—	0.0	100,000
<b>生活排水処理事業費用</b>	21,364,000	17,719,079	82.9	<b>0.7</b>	3,644,921
営業費用	19,514,000	15,993,501	82.0	0.6	3,520,499
営業外費用	1,700,000	1,693,162	99.6	0.1	6,838
特別損失	50,000	32,416	64.8	0.0	17,584
予備費	100,000	0	—	0.0	100,000
<b>合 計</b>	<b>2,725,065,000</b>	<b>2,662,869,288</b>	<b>97.7</b>	<b>100.0</b>	62,195,712

収益的収入の決算額は26億3,017万円で収入率が99.4%、収益的支出の決算額は26億6,286万円で執行率が97.7%である。

収入の構成比率は、公共下水道事業収益が24.9%、特定環境保全公共下水道事業収益が56.2%、農業集落排水事業収益が16.8%、小規模集合排水処理事業収益が0.3%、個別排水処理事業収益が1.1%、生活排水処理事業収益が0.8%である。

支出の構成比率は、公共下水道事業費用が24.8%、特定環境保全公共下水道事業費用が56.4%、農業集落排水事業費用が16.6%、小規模集合排水処理事業費用が0.4%、個別排水処理事業費用が1.2%、生活排水処理事業費用が0.7%である。

② 資本的收入及び支出

《収入》

(単位：円・%)

区 分	予算額	決算額	収入率	予算額に比べ 決算額の増減
<b>公共下水道事業資本的収入</b>	409,510,000	<b>309,527,275</b>	75.6	△ 99,982,725
出 資 金	193,204,000	184,704,000	95.6	△ 8,500,000
企 業 債	189,400,000	96,400,000	50.9	△ 93,000,000
補 助 金	25,232,000	19,886,000	78.8	△ 5,346,000
負 担 金	1,650,000	8,519,360	516.3	6,869,360
基 金 収 入	24,000	17,915	74.6	△ 6,085
<b>特定環境保全公共下水道事業資本的収入</b>	370,249,000	<b>326,546,896</b>	88.2	△ 43,702,104
出 資 金	318,330,000	318,330,000	100.0	0
企 業 債	49,000,000	0	0.0	△ 49,000,000
負 担 金	2,400,000	7,707,000	321.1	5,307,000
基 金 収 入	519,000	509,896	98.2	△ 9,104
<b>農業集落排水事業資本的収入</b>	137,450,000	<b>138,787,771</b>	101.0	1,337,771
出 資 金	136,259,000	136,259,000	100.0	0
負 担 金	600,000	1,800,000	300.0	1,200,000
基 金 収 入	591,000	728,771	123.3	137,771
<b>小規模集落排水処理事業資本的収入</b>	2,969,000	<b>2,669,000</b>	89.9	△ 300,000
出 資 金	2,669,000	2,669,000	100.0	0
負 担 金	300,000	0	0.0	△ 300,000
<b>個別排水処理事業資本的収入</b>	14,804,000	<b>7,504,342</b>	50.7	△ 7,299,658
出 資 金	3,203,000	3,203,000	100.0	0
企 業 債	11,000,000	2,900,000	26.4	△ 8,100,000
負 担 金	600,000	1,400,000	233.3	800,000
基 金 収 入	1,000	1,342	134.2	342
<b>生活排水処理事業資本的収入</b>	474,000	<b>473,029</b>	99.8	△ 971
出 資 金	469,000	469,000	100.0	0
基 金 収 入	5,000	4,029	80.6	△ 971
<b>合 計</b>	<b>935,456,000</b>	<b>785,508,313</b>	<b>84.0</b>	<b>△ 149,947,687</b>

《支出》

(単位：円・%)

区 分	予算額	決算額	執行率	不用額
公共下水道事業資本的支出	613,607,000	<b>503,895,736</b>	82.1	109,711,264
建設改良費	242,500,000	132,796,800	54.8	109,703,200
企業債償還金	371,082,000	371,081,021	100.0	979
積立金	25,000	17,915	71.7	7,085
特定環境保全公共下水道事業資本的支出	1,000,613,000	<b>954,689,404</b>	95.4	45,923,596
建設改良費	78,040,000	32,547,960	41.7	45,492,040
企業債償還金	922,052,000	922,051,548	100.0	452
積立金	521,000	89,896	17.3	431,104
農業集落排水事業資本的支出	296,439,000	<b>292,515,008</b>	98.7	3,923,992
建設改良費	5,000,000	1,360,800	27.2	3,639,200
企業債償還金	290,846,000	290,845,437	100.0	563
積立金	593,000	308,771	52.1	284,229
小規模集合排水処理事業資本的支出	6,720,000	<b>6,419,297</b>	95.5	300,703
建設改良費	300,000	0	0.0	300,000
企業債償還金	6,420,000	6,419,297	100.0	703
個別排水処理事業資本的支出	20,519,000	<b>12,388,125</b>	60.4	8,130,875
建設改良費	11,100,000	2,970,000	26.8	8,130,000
企業債償還金	9,417,000	9,416,783	100.0	217
積立金	2,000	1,342	67.1	658
生活排水処理事業資本的支出	3,259,000	<b>3,256,249</b>	99.9	2,751
企業債償還金	3,253,000	3,252,220	100.0	780
積立金	6,000	4,029	67.2	1,971
合 計	<b>1,941,157,000</b>	<b>1,773,163,819</b>	<b>91.3</b>	167,993,181

資本的収入決算額 7 億 8,550 万円の事業ごとの内訳は、公共下水道事業 3 億 952 万円、特定環境保全公共下水道事業 3 億 2,654 万円、農業集落排水事業 1 億 3,878 万円、小規模集合排水処理事業 266 万円、個別排水処理事業 750 万円、生活排水処理事業 47 万円であり、予算額 9 億 3,545 万円に対し収入率は 84.0%となっている。

資本的支出決算額 17 億 7,316 万円の事業ごとの内訳は、公共下水道事業 5 億 389 万円、特定環境保全公共下水道事業 9 億 5,468 万円、農業集落排水事業 2 億 9,251 万円、小規模集合排水処理事業 641 万円、個別排水処理事業 1,238 万円、生活排水処理事業 325 万円であり、予算額 19 億 4,115 万円に対し執行率は 91.3%となっている。

### (3) 経営成績

#### ① 損益計算書

#### 損益計算書

(単位：円・%)

年度 科目	30		29		対前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
営業収益	435,990,445	16.8	460,956,129	17.2	△ 24,965,684	△ 5.4
下水道使用料	429,522,400	16.6	442,279,585	16.5	△ 12,757,185	△ 2.9
他会計負担金	2,999,000	0.1	3,125,000	0.1	△ 126,000	△ 4.0
受託工事収益	3,061,800	0.1	15,406,200	0.6	△ 12,344,400	△ 80.1
その他の営業収益	407,245	0.0	145,344	0.0	261,901	180.2
営業費用	2,239,879,625	85.1	2,323,946,260	84.4	△ 84,066,635	△ 3.6
管渠費	80,706,623	3.1	76,606,050	2.8	4,100,573	5.4
ポンプ場費	1,244,547	0.0	1,704,211	0.1	△ 459,664	△ 27.0
処理場費	336,000,572	12.8	369,087,395	13.4	△ 33,086,823	△ 9.0
浄化槽費	27,263,799	1.0	28,109,266	1.0	△ 845,467	△ 3.0
受託工事費	2,835,000	0.1	14,265,000	0.5	△ 11,430,000	△ 80.1
総係費	117,544,217	4.5	115,030,769	4.2	2,513,448	2.2
減価償却費	1,674,284,867	63.6	1,707,972,348	62.1	△ 33,687,481	△ 2.0
資産減耗費	0	0.0	11,171,221	0.4	△ 11,171,221	皆減
営業損失	1,803,889,180	—	1,862,990,131	—	△ 59,100,951	△ 3.2
営業外収益	2,152,210,118	83.2	2,218,665,660	82.8	△ 66,455,542	△ 3.0
受取利息及び配当金	5,573	0.0	6,715	0.0	△ 1,142	△ 17.0
他会計負担金	1,367,472,000	52.8	1,376,305,000	51.4	△ 8,833,000	△ 0.6
他会計補助金	162,990,000	6.3	198,759,000	7.4	△ 35,769,000	△ 18.0
長期前受金戻入	621,720,945	24.0	643,574,295	24.0	△ 21,853,350	△ 3.4
雑収益	21,600	0.0	20,650	0.0	950	4.6
営業外費用	392,087,788	14.9	427,995,789	15.6	△ 35,908,001	△ 8.4
支払利息及び企業債取扱諸費	384,041,851	14.6	419,114,454	15.2	△ 35,072,603	△ 8.4
雑支出	8,045,937	0.3	8,881,335	0.3	△ 835,398	△ 9.4
経常損失	43,766,850	—	72,320,260	—	△ 28,553,410	△ 39.5
特別利益	0	0.0	121,374	0.0	△ 121,374	皆減
過年度損益修正益	0	0.0	121,374	0.0	△ 121,374	皆減
特別損失	1,496,794	0.1	368,273	0.0	1,128,521	306.4
過年度損益修正損	1,496,794	0.1	368,273	0.0	1,128,521	306.4
当年度純損失	45,263,644	—	72,567,159	—	△ 27,303,515	△ 37.6
前年度繰越欠損金	1,913,168,217	—	1,840,601,058	—	72,567,159	3.9
当年度未処理欠損金	1,958,431,861	—	1,913,168,217	—	45,263,644	2.4

(注) 構成比は総収益、総費用に対する比率である。

ア 営業損益

営業収益 4 億 3,599 万円から営業費用 22 億 3,987 万円を控除した営業損失は、18 億 388 万円となっている。

イ 経常損益

営業損失に営業外収益 21 億 5,221 万円及び営業外費用 3 億 9,208 万円を加減算した経常損失は、4,376 万円となっている。

ウ 純損益

経常損失に特別損失 149 万円を加算した当年度純損失は、4,526 万円となっている。

② 未収金の状況について

下水道分担金・負担金未収金状況

(単位：円・%)

区分		年度		対前年度比	
		30	29	増減	増減率
現年度分	公共下水道負担金	705,600	0	705,600	皆増
	特定環境保全公共下水道負担金	650,000	0	650,000	皆増
	農業集落排水事業分担金	0	100,000	△ 100,000	皆減
	小規模集合排水事業分担金	0	0	0	—
	個別排水事業分担金	0	0	0	—
	生活排水施設事業分担金	0	0	0	—
	計	1,355,600	100,000	1,255,600	1,255.6
過年度分	公共下水道負担金	10,681,990	10,693,590	△ 11,600	△ 0.1
	特定環境保全公共下水道負担金	13,009,630	13,189,630	△ 180,000	△ 1.4
	農業集落排水事業分担金	5,972,400	6,002,400	△ 30,000	△ 0.5
	小規模集合排水事業分担金	449,600	449,600	0	0.0
	個別排水事業分担金	283,000	283,000	0	0.0
	生活排水施設事業分担金	0	0	0	—
	計	30,396,620	30,618,220	△ 221,600	△ 0.7
合 計		<b>31,752,220</b>	30,718,220	<b>1,034,000</b>	<b>3.4</b>

下水道使用料未収金状況

(単位：円・%)

区分		年度		対前年度比	
		30	29	増減	増減率
現 年 度 分	公共下水道使用料	16,437,851	16,814,695	△ 376,844	△ 2.2
	特定環境保全公共下水道使用料	19,161,401	20,916,568	△ 1,755,167	△ 8.4
	農業集落排水使用料	3,812,707	5,653,820	△ 1,841,113	△ 32.6
	小規模集合排水使用料	38,227	175,448	△ 137,221	△ 78.2
	個別排水使用料	671,804	897,923	△ 226,119	△ 25.2
	生活排水使用料	490,440	568,901	△ 78,461	△ 13.8
	計	40,612,430	45,027,355	△ 4,414,925	△ 9.8
過 年 度 分	公共下水道使用料	938,604	884,968	53,636	6.1
	特定環境保全公共下水道使用料	1,199,230	805,536	393,694	48.9
	農業集落排水使用料	809,278	810,507	△ 1,229	△ 0.2
	小規模集合排水使用料	8,767	8,767	0	0.0
	個別排水使用料	106,050	0	106,050	皆増
	生活排水使用料	0	14,255	△ 14,255	皆減
	計	3,061,929	2,524,033	537,896	21.3
合 計		43,674,359	47,551,388	△ 3,877,029	△ 8.2

平成30年度末現在の下水道分担金・負担金の未収金は、3,175万円で前年度と比べると103万円(3.4%)増加している。下水道使用料の未収金は、4,367万円で前年度と比べると387万円(8.2%)減少している。

## (4) 財政状況

《資産の部》

(単位：円・%)

年度 科目	30		29		対前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
<b>固定資産</b>	<b>44,618,791,303</b>	98.7	46,135,547,217	98.5	△ 1,516,755,914	△ 3.3
有形固定資産	43,962,626,537	97.2	45,479,804,404	97.1	△ 1,517,177,867	△ 3.3
土地	779,982,375	1.7	779,982,375	1.7	0	0.0
建物	1,526,120,976	3.4	1,570,187,298	3.4	△ 44,066,322	△ 2.8
構築物	38,058,896,057	84.2	39,031,145,822	83.3	△ 972,249,765	△ 2.5
機械及び装置	3,553,717,237	7.9	4,050,098,784	8.6	△ 496,381,547	△ 12.3
車両運搬具	26,347,713	0.1	29,833,726	0.1	△ 3,486,013	△ 11.7
工具器具及び備品	17,562,179	0.0	18,556,399	0.0	△ 994,220	△ 5.4
投資	656,164,766	1.5	655,742,813	1.4	421,953	0.1
投資有価証券	100,000,000	0.2	100,000,000	0.2	0	0.0
基金	535,970,804	1.2	535,548,851	1.1	421,953	0.1
建設基金	179,560,944	0.4	179,501,164	0.4	59,780	0.0
償還基金	356,409,860	0.8	356,047,687	0.8	362,173	0.1
その他投資	20,193,962	0.0	20,193,962	0.0	0	0.0
<b>流動資産</b>	<b>587,648,905</b>	1.3	694,478,074	1.5	△ 106,829,169	△ 15.4
現金預金	520,293,225	1.2	597,536,581	1.3	△ 77,243,356	△ 12.9
未収金	67,355,680	0.1	85,441,493	0.2	△ 18,085,813	△ 21.2
未収金	87,235,747	0.2	105,321,560	0.2	△ 18,085,813	△ 17.2
貸倒引当金	△ 19,880,067	△ 0.0	△ 19,880,067	△ 0.0	0	0.0
前払金	0	0.0	11,500,000	0.0	△ 11,500,000	皆減
<b>資産合計</b>	<b>45,206,440,208</b>	100.0	46,830,025,291	100.0	△ 1,623,585,083	△ 3.5

《負債及び資本の部》

(単位：円・%)

科 目	30		29		対前年度	
	金額	構成比	金額	構成比	増 減	増減率
固定負債(企業債)	16,809,097,964	37.2	18,311,438,381	39.1	△ 1,502,340,417	△ 8.2
流動負債	1,775,224,535	3.9	1,915,692,925	4.1	△ 140,468,390	△ 7.3
企業債	1,601,640,417	3.5	1,603,066,306	3.4	△ 1,425,889	△ 0.1
未払金	165,583,318	0.4	305,167,619	0.7	△ 139,584,301	△45.7
預り金	307,800	0.0	0	0.0	307,800	皆増
引当金(賞与引当金)	7,693,000	0.0	7,459,000	0.0	234,000	3.1
繰延収益	15,572,657,058	34.4	16,173,493,730	34.5	△ 600,836,672	△ 3.7
長期前受金	28,020,272,942	62.0	27,999,388,669	59.8	20,884,273	0.1
長期前受金収益化累計額	△12,447,615,884	△27.5	△11,825,894,939	△25.3	△ 621,720,945	5.3
資本金	12,456,460,625	27.6	11,810,826,625	25.2	645,634,000	5.5
自己資本金	12,456,460,625	27.6	11,810,826,625	25.2	645,634,000	5.5
固有資本金	5,440,829,625	12.0	5,440,829,625	11.6	0	0.0
繰入資本金	7,015,631,000	15.5	6,369,997,000	13.6	645,634,000	10.1
剰余金	△ 1,406,999,974	△ 3.1	△ 1,381,426,370	△ 2.9	△ 25,573,604	1.9
資本剰余金	551,431,887	1.2	531,741,847	1.1	19,690,040	3.7
国庫補助金	352,430,180	0.8	352,620,491	0.8	△ 190,311	△ 0.1
県補助金	36,607,643	0.1	37,182,847	0.1	△ 575,204	△ 1.5
分担金及び負担金	129,980,737	0.3	110,787,135	0.2	19,193,602	17.3
その他資本剰余金	32,413,327	0.1	31,151,374	0.1	1,261,953	4.1
欠損金	1,958,431,861	4.3	1,913,168,217	4.1	45,263,644	2.4
前年度未処理欠損金	1,913,168,217	4.2	1,840,601,058	3.9	72,567,159	3.9
当年度未処理欠損金	45,263,644	0.1	72,567,159	0.2	△ 27,303,515	△37.6
負債・資本合計	45,206,440,208	100.0	46,830,025,291	100.0	△ 1,623,585,083	△ 3.5

資産総額は452億644万円で、内訳は固定資産が446億1,879万円、流動資産が5億8,764万円である。また、負債及び資本の構成は、固定負債が168億909万円、流動負債が17億7,522万円、繰延収益が155億7,265万円、資本金が124億5,646万円、剰余金が△14億699万円である。

## (5) む す び

### ① 業務実績について

下水道事業の目的は、公共用水域の水質保全を図り、身近な自然環境に与える負荷を軽減し、快適な生活環境を提供することである。

美作市の下水道事業は、昭和 52 年に美作地域で着手してから毎年整備を進め、その処理区域面積は 1,516ha となり、平成 25 年に美作市内すべての下水道整備を完了した。

本年度末における水洗化人口は 23,683 人、水洗化世帯は 10,015 世帯であり、前年度と比較すると、水洗化人口は 502 人、水洗化世帯は 212 世帯減少している。年間総処理水量は、2,970,147 m<sup>3</sup>、年間総有収水量は、2,812,001 m<sup>3</sup>であり、前年度と比較すると年間総処理水量は 174,387 m<sup>3</sup>、年間総有収水量は 96,086 m<sup>3</sup>減少している。

平成 21 年度に、経営内容の透明化及び使用料の適正化並びにコスト・管理の縮減を目指して、地方公営企業に移行し、独立採算の形態で事業を運営することとした下水道会計であるが、一般会計からの繰入金は 15 億 3,346 万円（その内、基準外繰入金 1 億 6,299 万円）であり、収益合計の 59.2%を占めているなど、依然として一般会計からの繰入金でまかなわれている。今後も総処理水量が減少することが見込まれ、繰入金が益々増加していくことが考えられることから抜本的な経営改善を図られたい。

なお、純損失は 4,526 万円となっており、累積未処理欠損金は 19 億 5,843 万円であるが、その内 16 億 7,428 万円は減価償却費計上に係るものである。

### ② 意見及び指摘事項

ア 下水道事業は、汚水の処理と雨水の排除による浸水の防除、生活環境の改善及び公共用水域の水質保全という機能を果たす必要があるため、施設の長寿命化、経営の効率化及び健全化を考慮し、より一層効率的に事業を展開していくことが求められる。

現在使用中の施設は耐用年数の経過に伴う老朽化により、維持修繕費の増加が見込まれることから、施設の統廃合を推進し効率的な設備維持管理を行い、徹底した経費の削減を図られたい。

イ 未水洗世帯に対する水洗化の啓蒙を行い、使用料収入の確保を図るとともに、使用料及び分担金・負担金の未収金回収の強化により収納率の向上を図られたい。